

学び合い・育ち合い・豊かに生き抜こうとする子ども達

京都府立丹波支援学校は京都府の中部地域にあります。校区は広く、東は福井県と滋賀県、西は兵庫県と大阪府に隣接しています。京都丹波高原国定公園に代表されるように、豊かな自然に恵まれた人々の暮らしがあることからこの地域一帯は「森の京都」と呼ばれています。その名の通り学校の周りも豊かな自然に囲まれています。

本年度は、小学部 66 名、中学部 61 名、高等部 80 名の全校児童生徒 207 名でスタートしました。教育目標を「学び合い・育ち合い・豊かに生き抜こうとする子ども達」とし、目標の実現に向けて、児童生徒一人一人の障害実態やそのニーズに合わせ「一人一人を大切にした教育」が進められるように取り組んでいます。

児童生徒が高等部を卒業した後は、地域の中で生きることから、校区を学びのキャンパスと位置づけ、より多くの方とつながることで、地域に根差した教育ができるよう日々取り組んでいます。その一つとして、保護者や地域・関係機関の皆様で構成する学校運営協議会を設置し、様々な角度からの御意見を学校運営に反映させながら本校教育の充実発展と「地域に開かれた教育課程」の実現を目指しています。

今年度も新型コロナウイルス感染症の予防対策を実施しながらの教育実践となりますが、児童生徒が社会の中で幸せに生きていくための生きて働く力を身に付けることができるよう、教職員一同、教育の質を高める努力を続けます。引き続き、本校の教育の推進に御理解をいただき、より一層の御支援を賜りますようお願いいたします。

校長 後藤 昌則



◇ 教育目標 ◇

「学び合い・育ち合い・豊かに生き抜こうとする子ども達」

- (1) 障害による学習上又は生活上の困難を改善・克服しようとする意欲の育成
- (2) 基礎的な学力・健康の向上と豊かな人間性の育成
- (3) 一人一人に応じて自立し社会参加する資質や能力の育成
- (4) 生涯にわたり豊かに生き抜く力の育成

◇ めざす児童生徒像 ◇

- た・・・たくましくチャレンジする人
- ん・・・うんとまなぶ人
- ば・・・であいのばをたいせつにして、つながる人

◇ つけたい力の 5 つの柱 ◇

教育目標の達成に向けて、個別の教育支援計画と個別の指導計画の中で具現化し、子ども達の育成につなげます。

- ①からだをつくる・生活をつくる
- ②ものごとに向かう・ものごとを受け止める・考え深める
- ③人と関わり合う
- ④自分をつくる
- ⑤地域社会で豊かに生きる・暮らす

◇ 児童生徒数 ◇

	小学部	中学部	高等部	合計
亀岡市	37	41	63	141
南丹市	22	13	12	47
京丹波町	6	6	4	16
京都市	1	1	1	3
合計	66	61	80	207

*分教室生1名含む